



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
 コード番号 2432 URL http://dena.com/jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長兼CEO (氏名)守安 功
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長 (氏名)小林 賢治 (TEL) 03(6758)7200
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	38,284	1.5	7,354	83.5	7,039	55.8	5,333	140.6	5,168	152.2	273	△98.1
28年3月期第1四半期	37,721	5.3	4,008	△42.5	4,519	△32.8	2,217	△45.0	2,049	△45.6	14,658	360.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	35.63	35.57
28年3月期第1四半期	14.53	14.48

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する資本合計	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	248,630	193,779	186,540	75.0
28年3月期	254,861	196,328	189,208	74.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

- (注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無 : 無
 2. 平成29年3月期の配当予想は未定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,800	2.6	15,000	31.8	11,200	65.3	77.21
通期	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 当四半期における業績予想の修正有無 : 有
 2. 通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信(添付資料)4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	150,810,033株	28年3月期	150,810,033株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	5,740,882株	28年3月期	5,790,665株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	145,044,260株	28年3月期1Q	141,058,742株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(29年3月期1Q: 445,294株、28年3月期: 495,077株)を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等は、(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 配当予想金額に関して

平成29年3月期の配当予想に関しましては、当社は毎期の業績等を勘案し、配当金額を決定しておりますため、通期の業績予想について開示が可能となった時点で配当予想額についても速やかに開示いたします。なお、配当予想の開示を行う時期としましては、平成29年3月期第3四半期決算発表の時点を見込んでおります。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、平成28年8月10日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当四半期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 継続企業の前提に関する注記	12
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	12
(8) 重要な後発事象に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続きました。一方で海外景気の下振れ懸念などは、景気を下押しするリスクとなっております。

このような状況の下、平成29年3月期において当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、主力のゲーム事業における競争優位性を一層高める取り組みと、中長期で成長する構造的な強みを持つ事業の創出及び育成に継続して取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間において、売上収益は、前年同期比で増加いたしました。ゲーム事業は前年同期比で減収となりましたが、新規事業・その他及びスポーツ事業が増収となりました。

売上原価・販売費及び一般管理費は、合計では、前年同期比で若干の増加となりました。IP(知的財産)の活用に関連した支払手数料が減少した一方、アプリの利用拡大に伴い、ゲーム内課金の決済に関わる支払手数料が増加いたしました。また、販売促進費・広告宣伝費は、適切にコントロールしつつ、期待ゲームタイトルや新規事業を中心に投下いたしました。

なお、前年同期には、その他の費用に、欧米における体制及びゲームポートフォリオ見直しに関する一時費用を計上しておりますが、当第1四半期連結累計期間はそうした費用は発生しておりません。

また、円高の進行により、為替差損を含む金融費用が前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当社グループの売上収益は38,284百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は7,354百万円(同83.5%増)、税引前四半期利益は7,039百万円(同55.8%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5,168百万円(同152.2%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は26,144百万円(前年同期比7.7%減)、セグメント利益は6,652百万円(同2.3%減)となりました。

主力の国内のゲーム内仮想通貨(コイン)消費は前年同期比7.0%増の370億円となりました。利益率の高いブラウザのコイン消費は減少しましたが、アプリのコイン消費が引き続き堅調に推移しました。当第1四半期連結累計期間のアプリのコイン消費は、国内では162億円(同71.9%増)、海外では46億円(同21.8%減)となりました。

②EC事業

EC事業の売上収益は4,636百万円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は382百万円(同33.5%減)となりました。

取扱高が成長基調にある旅行代理店サービスや、決済代行サービスは堅調に推移しましたが、ショッピングサービスやオークションサービスが、利用減少等により前年同期比で減収となりました。

③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は5,460百万円(前年同期比46.1%増)、セグメント利益は1,786百万円(同109.1%増)となりました。株式会社横浜DeNAベイスターズは、主催試合の入場者数が増加し、好調に推移しました。

なお、平成28年1月に連結子会社となった株式会社横浜スタジアムは、平成29年3月期より通期で業績貢献いたします。

④新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は2,294百万円（前年同期比104.0%増）、セグメント損失は1,272百万円（前年同期は1,119百万円の損失）となりました。

当区分には、IPやコンテンツを構造的に生み出すことを目指すIP創出プラットフォーム事業、キュレーションプラットフォーム事業（注1）、ヘルスケア事業、オートモーティブ事業（注2）等を含んでおります。

うち、キュレーションプラットフォーム事業では、女性向けファッションの「MERY（メリー）」や住まい・インテリアの「iemo（イエモ）」をはじめ、運用する各サービスの利用が順調に拡大し、広告収入を中心に売上収益も成長いたしました。

（注1）キュレーションプラットフォームとは、インターネット上に散在する情報を、独自の観点で目利きするキュレーターと呼ばれる人たちが、各自が興味をもつテーマについてひとつの記事にまとめあげて公開できるウェブサイトまたはアプリのことです。

（注2）自動運転技術を活用したロボットタクシー等、自動車領域における事業です。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は248,630百万円（前連結会計年度末比6,231百万円減）となりました。

流動資産は118,486百万円（同1,336百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び現金同等物が1,448百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は130,145百万円（同4,895百万円減）となりました。主な減少要因はのれんが3,532百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は54,851百万円（同3,682百万円減）となりました。

流動負債は50,465百万円（同1,858百万円減）となりました。主な減少要因は未払法人所得税が3,397百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は4,386百万円（同1,824百万円減）となりました。主な減少要因はその他の長期金融負債が1,431百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の資本合計は193,779百万円（同2,549百万円減）となりました。主な減少要因はその他の資本の構成要素が5,011百万円減少したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第1四半期連結会計期間末において流動比率234.8%、親会社所有者帰属持分比率75.0%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,448百万円減少し、73,720百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5,794百万円（前年同期は7,344百万円の収入）となりました。主な収入要因は税引前四半期利益7,039百万円であり、主な支出要因は法人所得税支払額3,946百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,151百万円（前年同期は23,906百万円の支出）となりました。主な支出要因は無形資産の取得3,273百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は4,803百万円（前年同期は19,467百万円の収入）となりました。主な支出要因は配当金支払額2,827百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ゲーム事業では、まず国内において、アプリでは、既存有力タイトルのさらなる強化と新規ヒットタイトルの創出に注力しつつ、ブラウザでは、より長くユーザーに利用いただけるためのタイトル運営を継続してまいります。海外においては、有力IPを活用したタイトルを中心に展開している中国を中心に成長を図りつつ、収支改善に努めてまいります。また、平成29年3月期は、任天堂株式会社との業務・資本提携におけるタイトルも複数投入してまいります。

EC事業では、注力領域である旅行代理店サービスや決済代行サービスの取扱高拡大や、ショッピングにおける食品・日用品分野の強化に引き続き取り組みます。

スポーツ事業では、2016年シーズンも昨シーズンに引き続き、横浜DeNAベイスターズ主催試合の高水準の観客動員数を目指してまいります。

新規事業・その他においては、コスト管理の徹底や投資の見極めを適切に行いつつ、各事業の成長フェーズを見極めながら、収益化に向けた取り組みを進めてまいります。特にキュレーションプラットフォーム事業を中心にさらなる成長を図ってまいります。

また、自社での開発や他社との協業、M&A等の手法も活用した新たな事業の立ち上げ及びユーザーベースの拡大に継続して取り組んでまいります。

販売費及び一般管理費については、コストコントロールを適切に実施し経費節減に努めてまいります。

連結業績見通しにつきましては、主力のゲーム事業は国内外ともにその市場動向を予測することが難しくユーザーの嗜好や人気タイトルの有無等、様々な不確定要素に収益が大きく左右されること等から、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数値を算出することが困難なため、四半期ごとの業績発表時に翌四半期の業績見通しを公表させていただきます。

平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想については、前年同期比で増収増益を見込んでおります。

上記に記載した将来に関する記述は、現時点の情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、様々な不確定要素により上記内容と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	75,169	73,720
売掛金及びその他の短期債権	30,982	30,943
その他の短期金融資産	2,971	1,574
その他の流動資産	10,701	12,248
流動資産合計	119,822	118,486
非流動資産		
有形固定資産	2,756	2,633
のれん	50,825	47,293
無形資産	16,860	17,462
持分法で会計処理している投資	10,775	11,641
その他の長期金融資産	50,701	47,576
繰延税金資産	3,075	3,478
その他の非流動資産	47	61
非流動資産合計	135,039	130,145
資産合計	254,861	248,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	20,275	20,630
未払法人所得税	4,091	693
その他の短期金融負債	15,514	15,623
その他の流動負債	12,443	13,518
流動負債合計	52,323	50,465
非流動負債		
非流動の引当金	837	836
その他の長期金融負債	2,719	1,288
その他の非流動負債	2,653	2,263
非流動負債合計	6,210	4,386
負債合計	58,533	54,851
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	10,250	10,194
利益剰余金	163,711	165,944
自己株式	△12,456	△12,290
その他の資本の構成要素	17,306	12,295
親会社の所有者に帰属する資本合計	189,208	186,540
非支配持分	7,120	7,239
資本合計	196,328	193,779
負債及び資本合計	254,861	248,630

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上収益	37,721	38,284
売上原価	△16,105	△14,893
売上総利益	21,615	23,391
販売費及び一般管理費	△14,839	△16,154
その他の収益	120	144
その他の費用	△2,888	△27
営業利益	4,008	7,354
金融収益	314	258
金融費用	△10	△1,450
持分法で会計処理している関連会社の純利益(純損失)に対する持分	206	878
税引前四半期利益	4,519	7,039
法人所得税費用	△2,302	△1,706
四半期利益	2,217	5,333
以下に帰属する四半期利益		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	2,049	5,168
四半期利益：非支配持分に帰属	168	166
合計	2,217	5,333

(単位：円)

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	14.53	35.63
希薄化後1株当たり四半期利益	14.48	35.57

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期利益	2,217	5,333
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	11,517	△1,960
その他	△0	1
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	11,517	△1,959
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳 項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	920	△3,090
その他	4	△12
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内訳 項目(税引後)合計	924	△3,101
その他の包括利益(税引後)	12,441	△5,060
四半期包括利益合計	14,658	273
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	14,254	133
四半期包括利益：非支配持分に帰属	404	141
合計	14,658	273

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
平成27年4月1日現在	10,397	9,650	163,229	△43,918	17,851	157,210	7,293	164,502
四半期利益	—	—	2,049	—	—	2,049	168	2,217
その他の包括利益	—	—	—	—	12,205	12,205	236	12,441
四半期包括利益合計	—	—	2,049	—	12,205	14,254	404	14,658
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△2,593	—	—	△2,593	△188	△2,782
自己株式取引による増加(減少)	—	△9,084	—	31,362	△284	21,994	—	21,994
株式報酬取引による増加(減少)	—	149	—	—	78	227	—	227
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	8,811	△8,811	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	—	—	—	—	—	234	234
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	—	572	—	△572	—	—	—
平成27年6月30日現在	10,397	9,525	154,445	△12,556	29,278	191,091	7,742	198,833

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 資本合計	非支配持分	資本合計
平成28年4月1日現在	10,397	10,250	163,711	△12,456	17,306	189,208	7,120	196,328
四半期利益	—	—	5,168	—	—	5,168	166	5,333
その他の包括利益	—	—	—	—	△5,035	△5,035	△25	△5,060
四半期包括利益合計	—	—	5,168	—	△5,035	133	141	273
所有者への分配として認識した 配当	—	—	△2,900	—	—	△2,900	△1,994	△4,894
自己株式取引による増加(減少)	—	△196	—	166	—	△30	—	△30
株式報酬取引による増加(減少)	—	86	—	—	24	109	—	109
利益剰余金から資本剰余金への 振替	—	35	△35	—	—	—	—	—
非支配持分の取得及び処分等	—	—	—	—	—	—	577	577
振替及びその他の変動による 増加(減少)	—	20	—	—	—	20	1,396	1,416
平成28年6月30日現在	10,397	10,194	165,944	△12,290	12,295	186,540	7,239	193,779

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,519	7,039
減価償却費及び償却費	3,156	2,705
受取利息及び受取配当金	△14	△258
支払利息	3	4
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	3,880	△151
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△919	652
預り金の増減額(△は減少)	△203	△90
その他	△639	△415
小計	9,784	9,486
配当金受取額	11	215
利息支払額	△3	△4
利息受取額	3	43
法人所得税支払額	△2,450	△3,946
営業活動による正味キャッシュ・フロー	7,344	5,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,823	1,705
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△22,229	△217
有形固定資産の取得	△379	△154
無形資産の取得	△3,089	△3,273
その他	△32	△212
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△23,906	△2,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	50	—
借入金の返済	△50	△640
配当金支払額	△2,453	△2,827
非支配株主への配当金支払額	△188	△1,994
非支配株主からの払込による収入	—	561
自己株式の処分による収入	22,105	96
その他	3	—
財務活動による正味キャッシュ・フロー	19,467	△4,803
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,906	△1,160
現金及び現金同等物の期首残高	68,724	75,169
現金及び現金同等物の為替変動による影響	220	△289
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,850	73,720

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

1 セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「EC事業」、「スポーツ事業」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Mobage（モバゲー）」等
EC事業	eコマース関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「DeNAショッピング」、「DeNAトラベル」、「モバオク」、決済代行サービス等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「DeNA Running Club」等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内及び海外） 主要事業領域： IP創出プラットフォーム事業、キュレーションプラットフォーム事業、ヘルスケア事業、オートモーティブ事業、モバイルソーシャルインキュベーション事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、平成28年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表に記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	EC事業	スポーツ事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益						
外部顧客からの売上収益	28,207	4,711	3,736	1,066	—	37,721
セグメント間の売上収益	107	270	0	59	△436	—
計	28,315	4,981	3,736	1,125	△436	37,721
セグメント利益(損失) (注) 1	6,812	574	854	△1,119	△344	6,776
その他の収益・費用(純額)						△2,768
営業利益						4,008
金融収益・費用(純額)						304
持分法で会計処理している 関連会社の純利益(純損失) に対する持分						206
税引前四半期利益						4,519

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・キュレーションプラットフォーム事業・ヘルスケア事業・オートモーティブ事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間

(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	EC事業	スポーツ事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益						
外部顧客からの売上収益	26,105	4,429	5,455	2,294	—	38,284
セグメント間の売上収益	39	207	4	0	△251	—
計	26,144	4,636	5,460	2,294	△251	38,284
セグメント利益(損失) (注) 1	6,652	382	1,786	△1,272	△311	7,237
その他の収益・費用(純額)						117
営業利益						7,354
金融収益・費用(純額)						△1,192
持分法で会計処理している 関連会社の純利益(純損失) に対する持分						878
税引前四半期利益						7,039

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP創出プラットフォーム事業・キュレーションプラットフォーム事業・ヘルスケア事業・オートモーティブ事業・モバイルソーシャルインキュベーション事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	2,049	5,168
基本的期中平均普通株式数 (株)	141,058,742	145,044,260
希薄化性潜在的普通株式の影響 ：ストック・オプション等	407,888	235,823
希薄化後の期中平均普通株式数	141,466,630	145,280,083
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	14.53	35.63
希薄化後1株当たり四半期利益	14.48	35.57

(8) 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。